



秋山みつあき県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

◆館山市特集◆ 6月県議会一般質問

安房が良くなれば、千葉県が良くなる



6月県議会一般質問する秋山みつあき県議

政治信条を掲げ、一般質問に登壇

安房地域の拠点市、館山市からこの春の県議選に立候補し、初当選した秋山光章（あきやま みつあき）県議。企業経営に長く従事、館山市議として議長を経験するなど民間感覚と政治感覚を兼ね備えた政治家として、県政での新たな活躍が期待されています。県議一期生でつくる一休会の会長に就任したことがその表われと言えましよう。6月県議会ではさつそく一般質問に立ち、「館山市、安房地域が良くなれば、千葉県すべてが良くなる」との信念の下、地元の課題を中心に県執行部と対峙しました。その模様を特集します。

館山市 工業団地の利は十分、誘致努力を
秋山 館山工業団地は、南房総地域の雇用機会を拡大し地域の活性化を図ること目的に、県企業庁により事業が進められている。しかし、企業進出が決まってから造成計画を策定するオーダーメイド方式のた

め、進出決定から6年かからないと工場立地ができない。県都に60分、都心に90分と地の利は十分。誘致活動に努力すれば企業は必ず来る。現状と今後の事業見通しを聞きたい。

しかし、平成6年度の公募開始以降、広報媒体を活用したPR活動に努めてきたものの、進出する企業はなく、いまだ造成工事には着手していません。企業庁としては土地造成整備事業の収束時期を踏まえ、企業の進出動向や事業の採算性等を考慮するとともに、地元市とも十分協議し、今後の取り組み方針をまとめていきます。

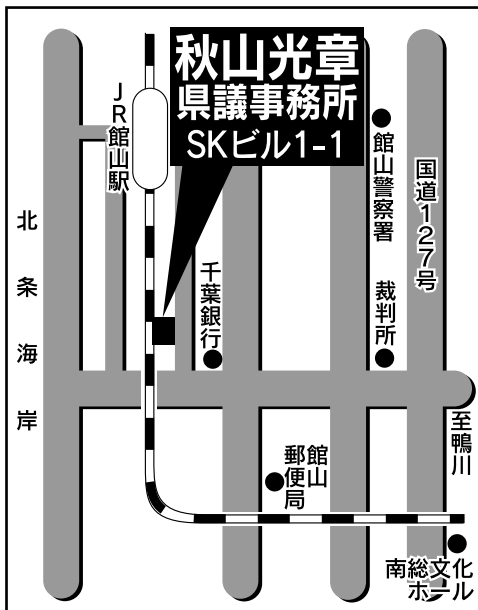
イノシシ 対策「くくりわな」使用で調整

秋山 農作物に多大な影響を及ぼすイノシシ等の野生鳥獣対策を県としてどう進めていくのか。

知事 急増するイノシシ被害に重点的に対応するため、本年度は捕獲目標を5千7百頭に定め、対策本部をあげて取り組むとともに、市町村が実施する捕獲事業の実績に応じた経費への助成や、新たに食肉利用のための衛生管理マニュアルの作成などを事業化し、被害対策を強力に推進します。

秋山 有害捕獲での「くくりわな」の取り扱い。知事 イノシシの捕獲数の

4分の1がくくりわなの使用で有効な捕獲手段。今後の有害鳥獣捕獲許可に当たり、12歩を超えるくくりわなを認める方向で調整していきます。



秋山みつあき・PROFILE

◆略歴◆

- 昭和21年9月 館山市生まれ
- 昭和46年3月 安房農業高校卒
- 平成3年5月 館山市議会議員初当選（4期）
- 平成15年5月 館山市議会議長
- 平成19年4月 県議会議員初当選

◆現職◆

- 県議会 農林水産常任委員会委員、議会図書室運営委員会委員、議会ブラジル友好議員連盟会員、一休会会長
- 千葉県 農政審議会委員
- 自民党県連 会計監査、組織委員会委員、スポーツ振興議員連盟委員、医療問題議員研究会委員、厚生会芸能文化部会員

県政や館山市のご相談、ご意見を聞かせてください

秋山みつあき県議事務所

〒294-0045

館山市北条2570-11

SKビル101

TEL.0470-23-5252

FAX.0470-23-5251

仮設料金所増や案内標識

富浦IC周辺の交通対策

秋山 南房総地域にとって長年の悲願であった館山自動車道の全線開通が実現、南房総地域へのアクセスは大幅に向上し、国道127号の混雑がさらに緩和すると期待している。

しかし、終点の富浦ICから館山市内にかけての国道127号や周辺道路での交通渋滞の発生が懸念される。交通渋滞は観光客が多く訪れる南房総地域にとっては大きなマイナス。その対策は十分な体制で取り組むべきと考えるがどうか。

県土整備部長 開通後の交通対策を実施するため、国、県、東日本高速道路ならびに公安委員会、地元2市で組織する「南房総地域交通集中対策検討会」を4月に設置、連携して対策に取り組んでいます。

緊急対策として、富浦IC出口に仮設料金所の増設、電光表示板による渋滞情報の提供、混雑時に交通を分散するための案内標識の整備等を行っています。

その効果を検証して、富浦ICから館山市内への国道127号の4車線化などの対策についても関係機関と連携して取り組んでまいります。

館山自動車道が全線開通

ETC割引料金適用を



県議会の自席で再質問

館山運動公園の整備 ゆめ半島千葉国体へ 野球場など改修着手



6月県議会一般質問。中央は秋山県議、左は堂本知事

政状況を踏まえ、国体競技施設については可能な限り現有的施設を効果的に活用することを基本方針とし、国体基準を満たすため中央競技団体から整備が必要と指摘を受けた部分を中心に改修等を行うこととしています。

館山運動公園内で開催予定の2競技については、

① 野球場のバックネットのラバーの設置、スコアボードの改修

② 剣道会場となる体育館の仮設観覧席の設置等の指摘に対応するため、今年度から野球場の改修に着手するほか、所要の整備を図ることとしています。

また、国体のために臨時的に必要な付帯施設などは、仮設や既存施設の活用で対応します。

今後も館山市や競技団体と協議し、円滑な競技運営ができるよう整備に万全を期してまいります。

秋山 「ゆめ半島千葉国体」は37年ぶり2度目の開催で、地元館山市でも館山運動公園内の野球場が軟式野球、体育館が剣道の会場として予定されている。館山運動公園内の競技施設の整備をどのように考えているのか。

国体・全国障害者スポーツ大会局長 県では厳しい財政状況の中で、国体競技施設の整備は、国体・全国障害者スポーツ大会局長 県では厳しい財政状況の中で、国体競技施設の整備は、

運動を通しての地域の活性化のため、国体が終わった後でもいいので、館山運動公園の整備をお願いしたい。

職員給与減額措置継続で論戦

6月県議会自民党代表質問

改選後の6月県議会では、最大会派の自民党代表質問に岡村泰明政調会長、四街道市選出、4期IIが登壇、財政、成田空港問題、高齢者問題、医療、環境、新産業振興、教育など幅広い今日的な問題について質問、県の姿勢をたずねた。

財政問題では、同議会に追加提案された県職員給与の減額措置の継続案について、「6年間も職員に負担を課すことについて、どのように考えているのか」と質問。知事は「財政健全化に向け、さらなる行政改革に取り組みしていく必要がある。苦渋の決断」と理解を求めた。

また、平成18年度一般会計決算見込みでは、2月議会時の「収支均衡」から一転、28億円程度の黒字となる見込みとしました。

羽田空港の国際化の進展に対する県の考え方は、今後とも「成田は国際、羽田は国内」の基本方針の堅持を強調。増大する首都圏の国際航空需要に対応するため、成田空港平行滑走路の北進整備を着実に進め、羽田と成田の有機的連携強化が「唯一現実的な対応」と述べました。

県政に円熟

秋山みつあき県議

◆館山市特集◆ 6月県議会一般質問